

426/134

<p>92-027335/04 DI3 ODAG/23.03.90 ODAGIRIN *10 3272-669-A 23.03.90 JP-072200 (04.12.91) A231-01 A231-02 C131-03/02 Solid-state food soluble in (hot) water - having food mounted on the end of a rod, for candles C92-011728</p>	<p>D(3-E)</p>
<p>Food comprises a food mounted on the end of a rod. The food may be shaped like an animal, plant, vehicle, person or doll and the rod may be made of wood, bamboo, paper or synthetic resin. USE - Used for candles. (app Dwg.No.0/4)</p>	

© 1992 DERWENT PUBLICATIONS LTD.
128, Theobalds Road, London WC1X 8RP, England
US Office: Derwent Inc., 1313 Dolley Madison Boulevard,
Suite 401, McLean, VA22101, USA
Unauthorized copying of this abstract not permitted

⑧ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑨ 公開 平成3年(1991)12月4日

A 23 L 2/00

W

6977-4B

1/00

Z

6977-4B

C 13 F 3/02

8114-4B

8931-4B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑩ 発明の名称 棒付水溶性固形食品

⑪ 特 題 平2-72200

⑫ 出 願 平2(1990)3月23日

⑬ 発 明 者 小 田 切 伸 行 神奈川県横浜市港北区大豆戸町931-1 C-214

⑭ 出 願 人 小 田 切 伸 行 神奈川県横浜市港北区大豆戸町931-1 C-214

特 許 公 報

特 許 公 報

1 発明の名称

棒付水溶性固形食品

2 特許請求の範囲

棒のほしに水や油に溶ける食品を固形にしたものを取り付けた棒付水溶性固形食品。

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、棒のほしに固形砂糖や、固形スープ、固形飲料のように水や油に溶ける食品を棒のほしに取り付けたものである。

(従来の技術)

従来の水溶性食品は、棒とは別個のものであった。その棒に溶け込む時に食を溶かしなければならなかった。

(発明の効果)

本発明の実施例を図に基いて説明する。

1は棒で、そのほしに水溶性固形食品2を取り

付けたものである。

なお、この実施例では水溶性固形食品の棒を円形にしたが、円形、動物、植物、模倣、食物、人物、人形などの形にすれば見ても差し支えない。

また、棒の原料は木、竹、紙、合成樹脂にすれば使い捨てとしても便利である。

また、棒のほしの部分は丸の形、平状、五稜の形でもよい。

(発明の効果)

この発明は、実施例に示すように棒のほしに水溶性固形食品を取り付けたものであるから食を別に用意しなくても、そのまま棒の中で水及び油と、溶ける水溶性固形食品を溶けて飲用できるから便利である。

また、溶け出た棒と水溶性固形食品が一体になっているので廃棄にも便利である。

4 図面の簡単な説明

図は本発明の実施例を示すもので、第1図は前視図、第2図は正面の断面図、第3図は側面の断面図、第4図は棒のほしが匙の形の場合の正面の断面図、第5図は棒のほしが匙の形の場合の側面の断面図である。

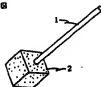
第6図は従来例を示す前視図、第7図は棒のほしが匙の形の場合の従来例である。

1は棒、2は水漏れ防止用食品である。

1 棒

2 水漏れ防止用食品

第1図



第2図



第3図



特許出願人
小田切 伸行

手続補正書(白濁)

(用)

平成 3 年 4 月 5 日

殿

特許庁長官

1 事件の表示

平成 2 年特許願第 7 2 2 0 0 号

2 発明の名称

水漏れ防止用食品

3 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所

神奈川県横浜市港北区大津町931-1

C-214

氏 名

小田切 伸行

4 補正の対象

明 示 記載全文 及び 図面

5 補正の内容

方式 (書)

別紙の通り



明 示 書

1 発明の名称

乾付水溶性固形食品

2 特許請求の範囲

乾のほしに水や油に溶ける食品や食品を固形にし
たものを取り付けた乾付水溶性固形食品。

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、乾のほしに固形珍味や、固形スープ
固形飲料のように水や油に溶ける食品及び食品
を乾のほしに取り付けたものである。

(従来の技術)

従来の水溶性食品は、乾とは別個のものであっ
た。その為に出汁時は別に乾を用意しなければな
らなかった。

(発明例)

本発明の発明例を図に基いて説明する。

1は乾、そのほしに水溶性固形食品2を取り

付けたものである。

なお、この発明例では水溶性固形食品の形を舟
形にしたが、円形、動物、植物、漫画、人物、人
物、人物などの形にすれば見ても楽しめる。

また、乾の素材を木、竹、紙、合成樹脂にすれば
良い。乾としても便利である。

また、乾のほしの部分は乾の形、平状、五芒
星状でもよい。

(発明の効果)

この発明は、発明例に示すように乾のほしに水溶
性固形食品を取り付けたものであるから乾を別
に用意しなくても、そのままの中で水及び油と
、溶ける水溶性固形食品を乾で固持できるから
便利である。

また、出汁出来る乾と水溶性固形食品が一体に
なっているため非常に便利である。

4 図面の簡単な説明

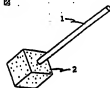
図は本発明の発明例を示すもので、第1図は前透
視図、第2図は正面の断面図、第3図は側面の断面
図、第4図は従来の例を示す斜視図。

1は乾、2は水溶性固形食品である。

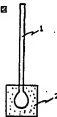
1 乾

2 水溶性固形食品

第1図



第2図



第3図



特許出願人
小田切 伸行

